



未来への一步を応援！

みらいチャレンジプログラム応援事業の取組

みらいチャレンジプログラム応援事業は、市内在住の生活に困窮されている方の自立生活支援や社会参加に様々な事業を展開して取り組む団体への助成事業です。今年度は、11 団体へ総額 437 万円の助成金を交付しました。

●団体の特色を生かした活動！

助成団体の「葦（あし）の会」は、平成 8 年より市内に住む外国人やその子どもを対象に、日本語の読み書きが身に着けられるよう、毎週金曜日夕方に光が丘小学校の生涯学習ルームで日本語学習教室を開催しています。学習支援をきっかけに、母国と日本の文化の違いによる戸惑いや、将来への不安を受けとめたり、書類の手続きの助言等を行う「生活相談」にも取り組んでいます。



「NPO 法人木パト」は、経済的に困窮する子どもたちの状況を目の当たりにする中、子どもだけではなく支援が必要な家庭が社会から孤立しないための取組が大切と考えました。地域での居場所づくりを目的に「みんなの居場所ちゃお！」を毎月第 2・4 金曜日の夕方に大野北地区内の自治会館で開催しています。「宿題しちゃお！ご飯を食べちゃお！遊んじゃ（ちゃ）お！」をテーマに、子どもたちが自由に過ごし、ボランティアとともに食事を楽しむことで、日頃の関係形成にもつながっています。

●情報交換会の開催

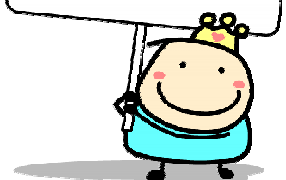
12 月 10 日（土）には、助成団体相互の情報共有と事業を進める中での課題の検討を目的に情報交換会を開催し、7 団体、12 人が参加しました。対象や事業内容は異なっていますが、どの取組も「孤立をさせないための居場所づくり」につながっていることや、団体同士の日常的な情報交換の必要性について、話し合いました。



にこまるの Twitter を始めました！

本会マスコットキャラクター「にこまる」が Twitter で市内の福祉イベントや福祉活動など、様々な情報をお届けします！この他にも「にこまる」のゆる～いつぶやきも発信していく予定ですので是非ご覧ください。フォロー、リツイートもよろしくお願いします。

右の QR コードから
アクセスしてね★



地域で身近な市民による支え合い～市民後見人養成研修の取組み～

市民後見人とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方の権利を守るため、裁判所に「成年後見人」として選出された市民のことです。地域の身近な存在である市民が、社会生活の中で培った経験を活かしながら、本人に代わって財産管理や必要となるサービスの契約を行い、生活の支援を行います。

本会では、平成 27 年 10 月から「市民後見人」の養成研修を実施しています。選考を経た 19 人の第 1 期生が成年後見制度や認知症、障がい者の理解、各種福祉制度やサービスの講義、高齢者福祉施設等の見学などの研修を受講しました。さらに、平成 28 年 4 月からは実際に成年後見制度を必要としている方への金銭管理や定期訪問に同行する、現場実習を行いました。第 1 期生は、平成 29 年 4 月より「市民後見人」として活動を開始する予定です。



＜実務研修の一コマ。行政書士の方をお招きし、講義を実施しました＞



ボランティアの交流会 ～いるカフェ開催～



＜バルーンアートではサンタクロースとリースを作成。体験を通して交流を深めました＞

11 月 25 日（金）に中央ボランティアセンターではボランティア登録制度「いるかバンク」に登録されている方を対象とした、交流サロン「いるカフェ」を開催し、11 人が参加されました。

普段は個人で活動することの多いボランティア同士の交流を深めることを目的に、バルーンアート作成を通しての活動体験と情報交換会を実施しました。

情報交換会では、「これから活動を始めたいが、不安があるのですが」という参加者の方に、「趣味を活かした活動や、できることから始めてみては」と、先輩ボランティアが活動の後押しをする場面もありました。

ファミリーサポートセンター会員交流会開催

本会の子育て支援事業「ファミリーサポートセンター」では、子育て中の人を応援する援助会員が保護者の方に代わって、子どもの幼稚園・保育所の送迎や保護者の病気、介護時の預かりなどを行っています。

11 月 14 日（緑区）、21 日（南区）、26 日（中央区）に援助・利用会員の交流会を開催し、「リンパマッサージ」の体験、「発達障がい」をテーマにした学習会、アコーディオン演奏グループ Luann（るあん）によるお楽しみコンサートと会員同士の情報交換会を実施しました。



＜発達障がいの学習会では、発達障がい児の家族会「おかんの会」の方と先輩援助会員から、発達障がい児の子育てについてとの活動体験を聴きました＞